

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

Osaka, May 30th, 1955. No. 279.

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
昭和三十年五月三十日發行(毎月一回三十日發行)
通卷第二七九号

關西大學學報

昭和30年5月 第 2 7 9 号



想　い

關西大學學報局

高木秀玄

もう、一人の統計学関係の教授は、労働統計学のロードス教授である。温和そのものの老教授であり、冬の休暇に、所在なさにキングス・ウェイを、研究室へ急ぐ私の肩をたゝいて、ロンドンの生活をエンジニアしているか、クリスマスには、何処へ旅行するか、日本の家族の安否など、ボツボツとたづねられるのであった。アレン教授は、統計学を、あくまで経済学的に理解しようと努力されているに対し、ケンタール教授は、徹底的に数理統計学の陣営の人であるとすれば、ロードス教授は、その道を往く人である。

生意気なことを述べるようであるが、近い将来のイギリスの統計学界を代表するようになるのは、ダービン君であろう、まだ、単行本の著書はないが、「王立統計協会雑誌」の諸論文は、實に素晴らしいものがある。厚く張った胸、温和なまなざし、それでいて、議論するときの「じぶとお」に、私は、本当の青年学者の姿をみせつけられたのである。その他に、モーザー君がいる。実に軽な青年である。この人が担当する「社会調査方法論」の講義に入つてもよいかと訊ねた時、「いけないよ、それより、今日のランチ・タイムと一緒に飯を食わうか」と答えるのであった。それ以来、私は、よくこのモーザー君と一緒に、大学の近くの「エコノミスト・ブック・ショップ」で近刊書を、ひやかしたり、これまた近くの政府の刊行物の専門店「ハーマヂエスティー・ステーションナリー」へ新し

い統計書や、国連、歐州經濟協力会(O.E.C.)の刊行物をあさりに行くのである。

実は、アレン教授に次いで、私が当地でお世話をなつてゐる人に、ボーカーさんがいる。銀髪をキチンと前刈りし、いかにも「オッサン、タイプ」の御仁であるが、ずっと、アレン教授の助手から、今日にまでやつて來た人であり、アレン教授を、「マイ・ボス」と呼んでいる。私のことを「ミスター・タカ」と呼ぶのも、この人である。よく、セミナーで面白い数学式が問題となるのであるが、その數式に、極めて平易な數値を代入して、すらすらと解いて終うという得手がある。「統計的方法」、社会学專攻学生のための「統計学」、「國民所得と資本」、「エコノメトリックス」の講義を担当している。

その他、私の専門の統計学以外、ロンドン大学で何かとお世話になつたり、週一回、スタッフ・レストラントで食事する学者に、マイド教授、ドクター・マコーワードクター・ストニヤーというような人々がある。

おしなべていうと、ドイツでも、そうであつたが、イギリスへ来て、しみじみと感じたことは、マーローパの学者達は、文字通りの学問の虫であるところであり、自分の与えられた天職としての学問の研究に、ひたり切つてゐるということである。給料は、私が直接、モーザー君に聞いたところでは、月、110ポンドであるとのこと。ちなみに彼は講師である。」

の類は、他の職に就いた同年代の者と比して、劣るとも勝らないものである。この類を引き上げることは、英議会でも再三、問題になつてゐる位である。併し、どの研究室の灯も、おそらく消えない。社会科學部門では、世界一といわれる、この大学のライブラリーで私は、持ち切れない研究資料を両わきにかかえて自分の研究室へ運ぶ、ミナード教授に、しばしば逢うのである。ところが、一度び、例のスタッフ・レストラントへ入ると、アレン教授は、「ロイ」であり、ケンダール教授は、「モウリズ」である。その明るさ、これまで、私が美しいものと感じたひとつのことである。(経済学部教授)

カリフオルニア大学寄贈図書
学術機関誌及び図書の交換を行つてゐるカリフオルニア大学よりこの程左記の図書が寄贈された。

Phiology:

Hans M. Wolff: Heinrich von Kieist.
Irving Pratter: The Pessimism of Leconte de Lisle.

Statistics:

- Werner R. Leimbacher: On Some Classes of Sequential Procedures for Obtaining Confidence Intervals of Given Length.
J. Bass: Space and Time Correlations in a Turbulent Fluid, Part I.
J. Bass: Space and Time Correlations in a Turbulent Fluid, Part II.
Emmanuel Parzen: On Uniform Convergence of Families of Sequences of Random Variables.
Harald Cramér: On Some Questions Connected with Mathematical Risk.

白川

朋吉、下条小野右衛門、

平井

三朗、久井忠雄、森川太郎

閑

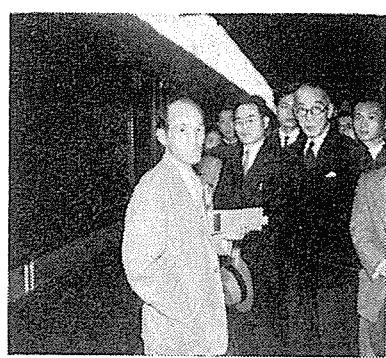
豊馬、角田好太郎、岡師親徳

(出席者四十七名 欠席者三十四名)



上道教授渡独

文学部上道直夫教授は、昭和二十九年



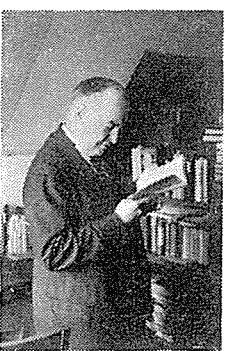
大阪駅上道の出発

エリセーフ教授來學

マハループ教授講演

関西大学経済学會では、アメリカン・ゼミナーレのため目下來朝中のジョンズ

・ホブキンス大学 F・マハループ教授 (Prof. Fritz Machlup) を招いて、五月九日午前十時半より経商学舎講堂において左の講演を行い、午後二時より大学ホールで討論会を行つた。



古書閲覧中のエ博士

ハーヴィード大学東洋研究所長 S・エリセーフ教授 (Prof. S. Eliseeff) は、

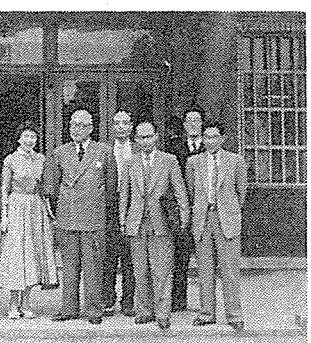
五月十六日午前本学千里山学舎を訪れ、

図書館所蔵の東洋關係古典書を閲覧した後、大学ホールで岩崎学長、宮島理事、

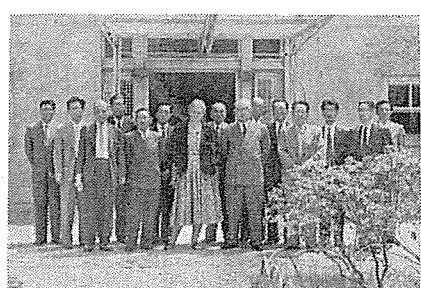
森川、中谷、矢口、石浜、堀、広瀬、各教授らと懇談した。

演題 The Importance of Economic Theory

ロッセンソン教授講演



経・商学舎前のマ教授



ロッセンソン教授と共に

目下来朝中のケンブリッヂ大学 J・ロビンソン教授 (Prof. Joan Robinson) は

関西大学経済学會の招きで五月二十四日に経済学部高木秀玄教授は、ロンドン大學における研究を了え五月十七日羽田空港着、十八日大阪駅着で無事帰学した。

演題 Trend and Trade Cycle

イギリスの批評家でブリーストリーという人が十数年前アメリカを訪問したとき、その広さを次のように表現したことである。「アメリカには歴史がない。アメリカでは、日中には地質学があり、夜には天文学がある。ここでは大地はまだ人間の到来を知らない。大地が知つてゐるものは、一群の山犬とそして一群の野兔である」。かれが何日間か滞在したのはアリゾナ州で、この批評もアリゾナの広さを歌つたものであるが、それはそのままアメリカ全土に当てはまる。アメリカで眼に見えるものは、ロツキー山脈

バスによるか、自家用自動車によるかどちらかである。それほど自宅と学校との距離が大きいのである。片田舎の小学校で十数台の自転車を見受けたので、我意を得たりと思つたのだが、これは自家用車で送り届けられない十数人の児童たちが自転車で通学しているだけである。これが絶対に見受けなかつた。

アメリカで徒步通学といえば、全国でまだ何十万と残つてゐる単級学校の児童たちだけに通用する。しかし、かれらと雖も、半数以上は自家用自動車で送り迎えをされている。

アメリカの学生は、簡単に結婚率の数倍、あるいは十数倍に上つてゐるのは、結局人間は、そんなに簡単には

夫婦の離婚率が、日本の離婚率の数倍、あるいは十数倍に上つてゐるのは、結局人間は、そんなに簡単には

これが結婚への重大な役割を果してゐる。男女がお互いに相手を吟味する上に、非常に大切な役割を演じてゐるのであるが、アメリカの離婚率が、日本の離

いいうる学生その他の男女の交際はデイ

テイングという名称によつて知られてゐる。精神的・肉体的に片輪でない限り、

これが結婚への重大な役割を果してゐる。男女がお互いに相手を吟味する上に、非常に大切な役割を演じてゐるのである。アメリカの脊骨は、東部

のミシシッピ川に沿う産業地帯と、この意味の大学生とてあるという言葉は、決して嘘ではないと思う。

アメリカの学生の家庭生活では、子供たちが日本の場合よりも遙かに多くの自由を与えられている。しかしこの自由はそれだけの責任を伴うものであつて、日本

の一部の青少年たちが考えているように、アメリカの自由を放任だと誤認した

最近アメリカの学生生活

片岡甚太郎

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

アメリカの児童・生徒は、カバンを携帯しない。弁当を持たない。弁当は、スクール・ランチで貰われる。

とアバランチア山脈と中西部の砂漠と、東部の原始林とあつて、西北端のシアトルから、東北端に近いボストンまで、特急で四昼夜、雨の少いこの大陸では、夜空は悠久の星の外には、燈火も見えないといった方が、眞実に近い。

この広大さが、アメリカ人の全生活を支配している。この国の経済開発に大きな寄与をした無数の鉄道の幹線は、今では貨物用で、人間を運ぶのは、全くの同情けである。従つて学生が汽車通学など以外の外で、郊外電車、バス路線は通学に向かない。学生の通学はスクール・バスによるか、自家用自動車によるかどちらかである。それほど自宅と学校との距離が大きいのである。片田舎の小学校で十数台の自転車を見受けたので、我意を得たりと思つたのだが、これは自家用車で送り届けられない十数人の児童たちが自転車で通学しているだけである。これが絶対に見受けなかつた。

アメリカで徒步通学といえば、全国でまだ何十万と残つてゐる単級学校の児童たちだけに通用する。しかし、かれらと雖も、半数以上は自家用自動車で送り迎えをされている。

アメリカの学生は、簡単に結婚率の数倍、あるいは十数倍に上つてゐるのは、結局人間は、そんなに簡単には夫婦の離婚率が、日本の離

いいうる学生その他の男女の交際はデイ

テイングという名称によつて知られてゐる。精神的・肉体的に片輪でない限り、

これが結婚への重大な役割を果してゐる。男女がお互いに相手を吟味する上に、非常に大切な役割を演じてゐるのである。アメリカの脊骨は、東部のミシシッピ川に沿う産業地帯と、この意味の大学生とてあるという言葉は、決して嘘ではないと思う。

アメリカの学生の家庭生活では、子供たちが日本の場合よりも遙かに多くの自由を与えられている。しかしこの自由はそれだけの責任を伴うものであつて、日本

の一部の青少年たちが考えているように、アメリカの自由を放任だと誤認した

アメリカの学生の家庭生活では、子供たちが日本の場合よりも遙かに多くの自由を与えられている。しかしこの自由はそれだけの責任を伴うものであつて、日本

の一部の青少年たちが考えているように、アメリカの自由を放任だと誤認した

アメリカの学生の家庭生活では、子供たちが日本の場合よりも遙かに多くの自由を与えられている。しかしこの自由はそれだけの責任を伴うものであつて、日本

の一部の青少年たちが考えているように、アメリカの自由を放任だと誤認した

アメリカの学生の家庭生活では、子供たちが日本の場合よりも遙かに多くの自由を与えられている。しかしこの自由はそれだけの責任を伴うものであつて、日本

筆者は広島文理大及同研究科卒、成城高校教授、昭和十三年より昭和二十一年まで本学教授、文部省調査局国際文化調査課、最近アメリカ視察。本稿は昨年十一月二十五日本学における講演要旨である。



校友バツチ

校

友

尼崎支部總会

四月二日(土)午後六時より尼崎商工

會議所にて尼崎支部總会を開催。当日大

学側より特に多數出席、出席総数六十

名、先づ浜本幹事長の開会の辭、松尾支

部長(木学評議員)の挨拶の後、白川理事

長及び岩崎学長の挨拶、森川教授の欧美

土産話に時間の過ぎるのを忘れ、一同記

念撮影の後開宴。岩本世話係(木学評議員)

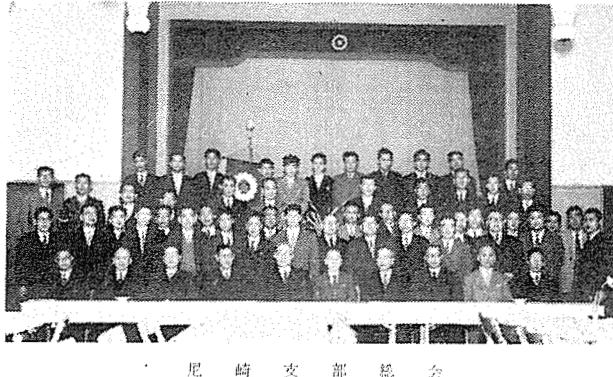
より出席者紹介、時あつて西村副支部長

(木学監事)の閉会の辭、最後に白川理事

長の支部方才三唱、須佐美副支部長の大

学方才によつて宴を閉じ、學歌を高唱盛

会裡に散会した。



尼崎支部總会

戦後はじめて、北海道支部總会の準備会を開催。来る六月二十五日、二十六日の

北海道支部復活準備会

去る五月九日札幌市日之出会館に於て

但し川西支部には川辺郡稻名川町
(前中谷村、六瀬村)を含む。

右三支部の創立總会を本年七月中に開

南日、定山渓温泉定山渓ホテルに於て支

部總会を行う事を決定した。

催し、今秋七十周年記念校友總会期日迄

に完全独立をなすこと。決議後、永年の

交誼を謝し、今後一年一回は三支部連合

總会を持ちたき意見等を交え、宴に入

る。

関西大學校友總會總務部

四月三十日(火)午後

伊丹支部事務所

伊丹市行基田一六五、磯野充賀方

宝塚支部事務所

伊丹市行基田一六五、磯野充賀方

宝塚市川面稻野七、池田幸太郎方

川西支部事務所

宝塚市川面稻野七、池田幸太郎方

川辺支部春季總会は五月廿二日(日)
午後一時半より伊丹市春日丘、伊丹織光

ホテルに於て開催、当日議題は川辺郡内
に伊丹市、宝塚市、川西市と鼎立するに
至つたので發展的解消を遂げ、左の三支
部を創立することであつた。

(決議)

旧川辺支部を分割して三支部とする。
伊丹市(伊丹支部)二四〇人

大韓民國慶南支部

閑大同窓会は戦乱の為、當地のみが中
央的役割をなしつつあつたが、昨秋より
漸く京城に閑大同窓会本部を設置し、各
地に支部を置くことに決定を見るに至り
春秋二回の定期總会、殊に五月十五日に
は當支部の春季總会に相当し、會員も約
四十名に達し、學歌、應援歌も雄々しく
昔を偲びつつ樂しき一日を過した。

事務所 大韓民國釜山市西大新洞二八一

支部長 鄭 塷 (大14專法)

關西大學創立七十周年記念

拡充資金募集趣意書

教授八名、専任講師五名、助手十七名の増員を予定しましたが、その大半はすでに補充致しました。

わが關西大學は、明治十九年河内町の一隅に、大阪に於ける唯一の法律学校として開校したのであります。爾來六十有余年校友先輩の苦心と不斷の努力に依つて目覚ましい發展を遂げ、今や一万数千の学徒を擁する私學の雄として、自他共に許す一大學園となりました。其の間幾多の俊英を輩出して、文化の向上、國家社會の進運に大きな寄与をなし得たことは、われわれの深く喜びとするところであります。學園發展のために尽瘁せられたそれらの先輩各位に対しても深甚の敬意と感謝を捧げずには居られません。

日本は、漸く独立國家として出発しましたが、國家の前途は甚だ多難であります。わが國は今後、文化國家として世界文化に貢献すべきであります、またそれによつて友邦の信に応えなければなりませんが、そのためには、教育の振興こそ最も緊要な問題であります。

本學は、大學の崇高な使命を自覺すると共に、歴史と伝統に立脚して、よくその声価を揚げて参りましたが、真理の討究、学の実化という理想に向つて、益々邁進したいと思います。本學が新學制に基き、各大学にさきがけて、大學院を設置し、修士課程並びに博士課程を開講したのも要は、その意味において将来の飛躍的な發展を意図したからに外なりません。

本學は時代の趨勢に鑑み、曩に五ヶ年計画を樹て、諸施設の改善充実に着手致しました。千里山における大學院、大學ホール、経済学部教室の増築等はその一環として既に竣工しましたが、なお計画中の事業で、しかも緊急をするものが種々残されて居ります。即ち、使用上すでに危険な状態にある、千里山法政学部學舍の改築、二部学生を收容するための天六學舍の増築、学生に対する施設の一部として、千里山尚志館（学生食堂学友会部室）の増改築等であります。また教授研究室は、現在六十五室を有するに至つたのであります。その大部分は、臨時的なもので、更に近代的設備を持つ研究室の新築を構想中であります。これらが竣工の暁には學園は全く面目を一新すると思います。

こうした外觀の整備と相俟つて、特に重要なものは、大學の真価を決する教授陣容の充実であります。二十八会計年度においては教授十名、助

教職員の待遇については、常にこれが改善に努め、本年度においても相当額の増俸を実施致しました。しかしながら現下の經濟状態に即応すべき所期の目的を十分に達し得て居ないのを遺憾と致します。

教授陣容の充実と共に、研究用圖書の完備も大切であります。この点についても目下銳意努力して居ります。

さて、上記の事柄は、いづれも緊急を要するもののみと考えますが就中、學舍の増改築は、最早一日も遷延を許しませんので、これを早急に達成するため、昭和三十年度に創立七十周年を迎えるのを機会に、その記念事業の一部として実施することに致しました。しかも、建築費だけでも総額約三億円を要するのであります。戦後の經濟的混亂により本大學法人の經理も、種々困難な事情を加えており、従つて事業遂行の資金は、止むを得ず関係者各位その他の御援助により御醸出を仰がねばならぬ実情にあります。

大學の生命は不朽であります。但し、學園の生々發展を希うためには、各位の學園に寄せられる深い愛情と熱意に俟たねばなりません。翼くは、學園の繁榮を念願する各位の御賛同を請い、この七十周年記念事業の完成を期したいと思います。各位の御賛同により本事業完成の暁には、學園はさらに新たな基盤に立つて飛躍的な發展を期し得ることを信じます。何卒御協力の程切に願上げます。

昭和二十八年十一月

關西大學學長 岩崎卯一
關西大學理事長 白川朋吉

創立七十周年記念事業學舍増改築概要

一、工事費總額約三億三千五百万円

(一) 千里山法政学部學舍改築(鉄筋コンクリート造)

三階建 一千六百六十八坪 工費約二億六千四百万円

(二) 天六學舍増築(鉄筋コンクリート造)

五階建 三百七十八坪 工費約三千萬円

(三) 千里山尚志館增改築(木造)二階建 三百二十一坪 工費約六百万円
関西大學第一高等学校の千里山外苑への移転新築(一・二階鉄筋三階木造)三階建 七百八十五坪 工費約三千五百萬円